



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

- 01 ちょっと遅い産卵期
- 02 美術展示室の展示更新

Vol.323
2024/05/01



町田善康 《残雪の出会い》

Photo 今月の1枚

まだ少し雪が残る森を歩いていると、アカギツネ（キタキツネ）に出会いました。変に近づいてくることはなく、私のことを警戒している野性味あふれる子でした。カメラの望遠レンズを覗き込むと、良い表情を見せてくれたので、パシヤリ。ちょっとしっぽの毛なみが変わり、なかなか良い写真が撮れました。（町田善康）



01 Green Column グリーンコラム

ちょっと遅い 産卵期

写真・文／町田善康

美幌温水溜池は、1970（昭和45）年に農業に利用するために造られました。その後数十年の歳月が、ため池周辺の生き物の暮らしを、ちょっと変化させているかもしれません。

通常、エゾサンショウウオは、雪解けとともに産卵しますが、ため池には5月にならないと水がないので産卵できません。そのため、ため池周辺に暮らすエゾサンショウウオは、他の場所より少し遅れて、水がはられた5月上旬以降に産卵しているようです。これとよく似た現象が、本州のニホンアマガエルで知られています（田和康太ほか、2019. 河道内氾濫原と水田域におけるカエル類の生息状況の比較. 応用生態工学, 22: 19-33.）。この調査によると、早春、ニホンアマガエルは河畔の湿地で産卵しており、水田は水がないので産卵できません（未開発の自

然の中では、ニホンアマガエルは早春から産卵します）。しかし、夏になると水田に水が張られるので、多くのニホンアマガエルが水田で産卵するようになりました。

このような人為的に改変された環境にうまく適応して生きてきたのが、里地里山の生き物たちです。本州では遥か昔に農耕が始まって以来、ゆっくりと人と生き物たちの関係が築かれ、貴重な生態系が生み出されてきました。一方、北海道は、明治以降に急速に開拓が進んだため、里地里山の生き物が育まれることなく、生物多様性が失われました。

ただ、今回紹介したように、北海道でも細々と人の暮らしに溶け込む生き物がいるようで、美幌温水溜池はその象徴ともいえ、これから始まる春からの観察が楽しみです。

美術展示室の 展示更新

写真・文／早田真莉子

先月初めに、第3展示室（美術展示室）の展示更新を行いました。ここまで大規模な展示替えは、およそ5年ぶりです。今回は、展示室を「美幌町ゆかりの作家たち」「オホーツクの作家たち」「名品コレクション」の3つのコーナーに区分した他、毎月1点の作品を入れ替える「今月の作品」コーナーを新設しました。この「今月の作品」コーナーの設置は、博物館協議会委員の方々からいただいたご意見がもととなっています。こうした毎月作品が入れ替わるコーナーがあることで、より多くの方に美術分野へ関心を寄せていただけるのではないかと、私自身期待しています。

また、美幌町にゆかりのある動物写真家 まえかわたかゆき 前川貴行氏 [1969（昭和44）年～] の特設展示スペースも設けました。今年度は、日本を代表する動物写真家である前川氏と美幌町との新たな

今月の作品 Artwork of the Month

プロジェクトが始動します。それは、美幌町内に生息する野生動物たちの姿を撮影してもらい、町内外へ美幌町の豊かな自然とその魅力を発信するというものです。本プロジェクトの様子は、当館の第3展示室や美幌博物館ホームページ、SNSにて随時発信していきますので、こちらもぜひお楽しみにしていただけたらと思います。

さらに、美幌町在住の画家 よこもりまさ 横森政明氏 [1927（昭和2）年～] のご家族から寄贈されたイーゼル3台を、作品とともに展示しています。これらのイーゼルは使用されていたままの状態で見せているため、付着した油絵具などから、画家の息遣いを感じていただけるはずです。

今後も地域に根差した作品や作家の魅力をどのように伝えていくか、工夫を凝らしていきますので、どうぞご期待ください！

Exhibition 展示

特別展「フィルムで振り返る美幌の歴史」

10月20日（日）まで

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

こどもの日「イベントと無料開館」

5/5（日）9:30～14:00（無料開館は17:00まで）

美幌博物館

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／申込み不要

プチ工房「チューブプレスレット」

5/17（金）、18（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／八重柏誠（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／申込み不要

博物館講座（歴史編）「写真で振り返る北海道の暮らしの歴史」

5/25（土）16:00～17:30

美幌博物館2階 視聴覚室・無料

講師／尾曲香織氏（北海道博物館）

対象／中学生以上（小学生以下は保護者同伴）

申込み／申込み不要

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

5月5日はこどもの日！私は四人姉妹なので実家に鯉のぼりは無かったのですが、姉や妹とカラーゴミ袋や色紙で自作し、庭の木々に飾って楽しんでいました。美幌博物館では無料開館や様々なイベントを開催しますので、ぜひご家族みなでお越しください♪（早田真莉子）



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】城坂結実

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

